

「令和6年度全国開拓青年・女性研修会 in 島根」の結果について

令和6年11月19日から21日の日程で、「令和6年度全国開拓青年・女性研修会 in 島根」及び「令和6年度講演会事業 日本の“農”講演会2024 in 島根」を合同で開催しましたが、11月6日、福岡県下の乳用牛飼養農場で国内では初めてとなるランピースキン病（以下「本病」という。）の発生が確認されたこと、その後、同県及び熊本県でも本病の感染が確認されたため、家畜防疫の観点から、11月20日に予定した2ヶ所両農場の視察を中止しました。

ここでは、19日の「令和6年度 全国開拓青年・女性研修会 in 島根」の枠組みの中で講演会に先立って行われた甲斐健二青年部長による「開会の言葉」、菊地文夫全日本開拓者連盟委員長による「主催者挨拶」を掲載します。

なお、19日に開催した講演会の概要につきましては当協会ホームページに掲載した「令和6年度講演会開催結果」をご覧ください。

○甲斐健二青年部長による「開会の言葉」

開会の言葉

ただ今、ご紹介頂きました青年部長の甲斐でございます。

令和6年度全国開拓青年・女性研修会の開催にあたり、青年部を代表して一言ご挨拶申し上げます。

全国開拓青年・女性研修会は、国内農業の中核的担い手として全国で活躍されております開拓青年・女性の資質の向上と、強固な連帯感の醸成を図ることを目的として各地域持ち回



りで実施され、今回で42回を数えることとなりました。

この間、令和2年度から4年度までの3年間は新型コロナウイルスが猛威を振るい、全国研修会の開催を見合わせておりましたが、昨年度は全国開拓代表者大会も盛大に開催することができ、全国開拓青年・女性研修会の単独開催としては、令和元年以

来5年振りの開催となりました。

さて、本年度の全国研修会は、島根県での開催となりました。

この間、海外では、ロシアによるウクライナ侵攻や中東紛争が長期化し、国内でも年明け

早々に発生した能登半島地震や各地で猛威を振るう集中豪雨等の自然災害も近年顕著となっており、国の防災対策が喫緊の課題となっております。

さて、近年、国内農業をめぐる情勢は、依然として厳しい状況にあり、特に畜産・酪農では、コロナ禍の沈静化もあり、消費回復の兆しは見えてきたものの、急激な円安による飼肥料・燃油高騰は、重く経営を圧迫しております。

この様な、国内外共に不透明な状況下で、我々開拓青年・女性は、この現状を的確に認識した上で、わが国の農業が今後如何にあるべきかを模索しながら、国民に安心して供給できる安全な食料生産の継続と、環境維持に貢献できる農業経営の実現に向け、さらなる一步を踏み出そうではありませんか。

本日は、全国から多くの開拓青年・女性の皆さんがこの島根県に参集され、研修会がこの様に盛大に開催できましたことを、心より厚くお礼申し上げますと共に、本日も講演を賜ります先生、並びにご来賓の方々には、大会開催に際しましてご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

ご案内のとおりこの研修会は本日から3日間にわたり開催されます。

本研修会に参加して頂いた皆様が、少しでも多くの夢を持ちながら農業に邁進できること、そして開拓者の皆様が農業を通じて一層ご活躍され、社会に貢献できますことを期待致しまして、簡単ではございますが開会の挨拶と致します。

令和6年11月19日

全日本開拓者連盟青年部長 甲斐健二

○菊地文夫全日本開拓者連盟委員長による「主催者挨拶」

主催者代表委員長挨拶

本日ここに令和6年度全国開拓青年・女性研修会がここ島根県で開催されるにあたり、開拓3団体を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

この研修会は先程青年部長の挨拶にもありましたように、全国各地から多くの開拓青年・女性の参加により、資質の向上と、強固な連帯感の醸成を目的として開催し、今年で42回を数えるに至りました。

これも偏に会員の皆様を始め関係各位によるご支援の賜と、衷心より厚く御礼申し上げます。

また、今回の研修会開催にあたり一方ならぬご尽力を賜りました三瓶開拓酪農協の西谷組合長を始めとする関係者の皆様に重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、青年部長の挨拶でも触れたとおり、現在、我が国農業を取り巻く環境は、非常に不透明な状況にあります。

国外では長期化する地域紛争や新興国等の人口増加から、世界的穀物需給のひっ迫は不可避であり、国内経済では、急激な円安等による輸入諸資材の高騰が、農業者をはじめ、国民

生活へ深刻な影響を及ぼしております。

世界的な食料資源の確保が最重要課題となっている今日、国内自給率向上による食料安全保障は、国の根幹に関わる問題であり、国内農畜産業の持続的発展なくして国の将来はありません。

政府は、「食料・農業・農村基本法」の見直しにより、食料安全保障の確立を最重要課題とし、国内農業生産の拡大を基本理念に掲げており、食料の安定供給の確保、農業の持続的発展、農村の振興、多面的機能の発揮を図るべく、主要政策の見直しを図るとしております。



当連盟は、全開連、開拓振興協会と共に、引続き、これら重要課題に対し、政府与党だけでなく、党派を超えて応援し、要請するという基本姿勢を崩さず、政治活動を進めて参りますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日から3日間開催するこの研修会で、より多くの仲間を作り、より多くの知識を吸収し、少しでも自

分の経営に役立たせて頂きたいと思っております。

なお、先月末から今月にかけて国内各地で発生した家畜伝染病の影響も考慮し、急ではありますが明日予定しておりました農場視察につきましては中止することとなりました。

何卒、防疫対策の観点からご理解いただきたいと思っております。

最後に、是非この研修会が有意義な研修会でありますよう、祈念し簡単ではございますが、開拓3団体を代表し挨拶とさせていただきます。

令和6年11月19日

全日本開拓者連盟委員長 菊地文夫